

発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁東庁舎内)

〒380-8570
長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL (026) 232-5319

編集発行人
古村 幹夫

防火標語

忘れてない?
スマホに
サイフに
火の確認



新年ごあいさつ

公益財団法人長野県消防協会会長 古村 幹夫

新年明けましておめで
とうございます。県下77
団、3万4千6百人余の
消防団員を始め、消防関
係機関の皆様が、平成31
年の新春を、御家族とも
どもお揃いで、お迎える
こととお慶び申し上げま
す。

皆様には、それぞれの
地域において、郷土愛と
奉仕の精神のもと、地域
住民の生命、身体、財産
をあらゆる災害から守る
ため、身の危険をも顧み
ず、日夜献身的に御活躍
されておりますことに、
深く敬意を表しますと
もに、当協会の事業運営
に御理解と御協力を賜り
厚く御礼申し上げます。
昨年、冬季の大雪に
始まり、大阪府北部を震
源とする地震、西日本を
中心とした豪雨災害、相

次ぐ台風上陸による広範
囲の被害、北海道胆振東
部地震など、様々な自然
災害が発生した一年であ
りました。また、ここに
きて住宅火災による犠牲
者も増えてきており、こ
れから春先にかけて火災の
発生が多くなる時期を
迎えることから、火災予
防に一層努めていただき
ますようお願いいたしま
す。

昭和25年8月に創刊い
たしました、この「信州
消防」も600号とな
りました。この間、長野
県内の消防団とともに歩
んでまいりました長野県
消防協会といたしまし
ても、今後も、より安全で
快適な郷土をつくるた
め、消防団が活性化し、
消防活動がより安全で迅
速なものとなるよう、さ



らに努力してまいりたい
と考えております。
12月に開催した第2回
専門委員会、第3回理事
会で平成31年度の事業執
行方針が決定されました
が、役員一同一丸となつ
て、事業執行に当たつて
まいる所存でありますの
で、本年も相変わらず御

支援、御協力を賜りま
すようお願い申し上げま
す。
最後になりますが、本
年が災害のない良い年で
ありますよう心から願う
とともに、皆様方の益々
の御健勝と御多幸を祈念
申し上げます。

謹賀新年

公益財団法人
長野県消防協会

会長 古村 幹夫
業務執行理事 武井 郁郎
副会長 宮下 和博
片山 真

常務理事 吉原 英樹
塩川 浩次
理事 新井 一朋
小林 淳
町田 佳彦
足立 孝幸
北原 政一
勝野 真也
寺嶋 英治
寺嶋 慶次
切久保達也
長谷川 修
田中 敏勝
高木 芳博
明石 洋一
清水 正
湯本 隆男
青木 弘

監事

評議員

柿沢 照紀
千葉櫻政彦
滝澤 稔
下起 公平
須賀 真孝

第3回理事会

平成31年度事業方針を決定

公益財団法人長野県消防協会の平成30年度第3回理事会を平成30年12月7日(金)長野市のホテル犀北館で開催しました。



第3回理事会 12月7日(金)

第1号議案の平成31年度の事業方針について、理事会に先立ち開催された各専門委員会です。事項を検討し、その結果について各委員長から理事会に報告し、次のとおり決定しました。

総務専門委員会関係

①基金運用、日消・県消防協会定例表彰、消防団員の活動に対する事業所等への協力依頼について、従来どおりとします。

②県関与については、事業費補助及び県による協会事務局運営への参加を引き続き要望します。

③消防団員の確保について打開策が見いだせない中であるが、各消防団の素晴らしい活動等を広く全県に県協会から発信していく仕組みを築くため、現在運用しているSNS(フェイスブック)を活用していきます。

④今年度に立ち上げた女性消防団員活性化会議を引き続き開催します。また、従来、音楽隊交流演奏会と同時開催してきた女性消防団員意見発表会を単独開催とし、内容についても幅広く女性団員の意見交換ができる様な場にしていきます。

教養専門委員会関係

①県消防ポンプ操法大会について

- ・2019年7月28日(日)飯田市で開催します。
- ・長野県消防ポンプ操法大会「操法実施要領・操法大会審査要領」に一部変更があります。
- ・女性によるポンプ操法演技については、輪番の考え方を改める方向で検討していきます。
- ・2020年の県大会については、東京オリンピックの開会式を避け、7月19日に行うこととします。

②県消防ラッパ吹奏大会について

・県消防ポンプ操法大会と同日に開催します。

- ・ブロック推薦審査員については、平成31年3月4日までに県消防協会事務局に報告いただき、第4回の理事会の承認をもって正式決定とします。
- ・長野県消防ラッパ教本については、一部修正があります。
- ・ラッパ講習会については、平成31年4月20日(土)県消防学校において、ブロック推薦審査員4名も参加し、実施します。

③消防団ラッパ隊広域交流会について、例年どおり実施します。

④第10回県消防団音楽隊交流演奏会については、女性消防団員意見発表会と切り離し、一般県民に消防団活動を周知することとし、2019年10月6日(日)駒ヶ根市で開催します。

⑤副団長講習会は、中・南信会場は、2019年6月8日(土)上松町社会体育館、東北信会場は6月22日(土)県消防学校で従来どおり実施します。

⑥消防団員指導員研修は、2019年12月17日(火)・18日(水)県消防学校において40人規模で開催します。

⑦消防団幹部特別研修は、平成31年度は、「南信ブロック」からの参加になります。

⑧消防団幹部候補中央特別研修は、「東信・北信・中信ブロック」からの参加になります。

⑨第24回全国女性消防操法大会は、2019年11月13日(水)横浜市で開催されます。上田市消防団が参加します。

⑩第25回全国女性消防団員活性化青森大会は、2019年9月19日(木)・20日(金)青森市で開催されます。本年度同様、日消の情報交流会参加の女性消防団員1人につき5,000円の助成をします。

福利厚生専門委員会関係

①団員証の作成について、平成27年度、全消防団員に「信州消防団員カード」が発行されましたが、平成30年度にカード更新しました。信州消防団員応援ショップ事業に対する広報等を積極的に実施していきます。

②日消の消防個人年金・消防団員等福祉共済・婦人消防隊員等福祉共済及び全日本消防人共済会の火災共済の加入促進を図ります。県等と共催で、市町村消防団事務担当者を対象とした消防団員等公務災害補償等実務研修会を開催します。

③県消防関係殉職者慰霊祭は、2019年9月6日(金)長野市花園平慰霊碑前で行います。正副会長・福利厚生委員

の出席をお願いします。県消防長会と共催することとし、来年度は、県消防長会が当番となります。

④第38回全国消防殉職者慰霊祭は、2019年9月12日(木)ニッショーホールで行われます。御遺族出席枠は5名程度となります。

⑤日消の福祉共済について、請求漏れのないように周知徹底を図ります。

長野県消防協会 参与会

長野県消防協会参与会を平成30年11月21日(水)長野市「長野ホテル犀北館」において、8名の参与が出席し開催しました。



参与会 11月21日(水)

消防団員指導員研修

新入団員等経験の浅い消防団員の教育訓練に当たる指導員となる幹部の研修会を平成30年12月19日(水)・20日(木)に県消防学校で開催しました。

幅広い消防経験に基づいた古村県協会長の講話の他、地域防災力の向上のための講座として、「消防団の現状・災害クロスロード」について長野県危機管理部危機管理防災課小林誠主査から、「最新の火災防ぎよ」、「車両破壊時の資機材取扱いと安全管理」、「救命法・応急救護、



消防団員指導員研修 12月19日(水)・20日(木)

消防団名	階級	氏名
小海町消防団	分団長	新津 昌一
小諸市消防団	副団長	高野 松宣
佐久市消防団	分団長	沖田 修一
軽井沢町消防団	副分団長	市川 健
御代田町消防団	分団長	滝本 寿
上田市消防団	分団長	原田 一仁
長和町消防団	副団長	渡邊 悟
岡谷市消防団	副団長	伊藤 実
富士見町消防団	分団長	清水 俊樹
原村消防団	副団長	初村 昌敏
伊那市消防団	副団長	伊藤 茂
駒ヶ根市消防団	副団長	田中 良英
箕輪町消防団	副団長	丸山 巖
中川村消防団	副団長	片桐 卓広
飯田市消防団	副団長	黒岩 正明
根羽村消防団	副団長	山下 直樹
泰阜村消防団	副団長	山崎 孝琢
豊丘村消防団	副団長	大島 伸一
木曾町消防団	副団長	田近 哲也
王滝村消防団	副団長	寺田 龍美
上松町消防団	副団長	塩原 肇
松本市消防団	副団長	百瀬 一茂
塩尻市消防団	副団長	中澤秀三郎
安曇野市消防団	副分団長	粟津原信一
朝日村消防団	副団長	吉川 玲
白馬村消防団	副団長	岡田 正
千曲市消防団	副団長	渋谷 智義
高山村消防団	副団長	村田 浩一
長野市消防団	副団長	中村 洋平
信濃町消防団	副団長	大森 健
信濃町消防団	副団長	山本 明彦
山ノ内町消防団	副団長	滝澤 史郎
栄村消防団	副団長	

平成30年度消防団員指導員研修受講者名簿

搬送など」等について消防学校職員から御指導をいただきました。次の33名の方が研修を修了し、全員に指導員章を授与しました。

第10回長野県消防団長・事務担当者研修大会

平成30年11月3日(土)駒ヶ根市アイパルにおいて約200名が参加し、第10回長野県消防団長・事務担当者研修大会を開催しました。

研修会の部では、古村幹夫県協会長、諏訪市消防団の加藤由美部長がテーマに対する意見発表を行い、パネルディスカッションで藤森諏訪市消防団長、神田中野市消防団長、上田市消防団女性消防隊の石和ペナテス隊長、大町市消防団の奥村救援班長と古村会長で意見交換を行いました。



第10回長野県消防団長・事務担当者研修大会 11月3日(土)

講演の部では、長野市消防局長次長兼警防課長の鎌田富夫講師に「大規模災害時における消防団員としての行動と役割について」と題し講演をいただきました。緊迫した災害現場で苦渋の選択をされたこと、しかし、本当に大切なことは「マニュアルを超えた行動、相手の立場に寄り添うこと」が大切になってくるのではないかとお話をいただきました。

また、引き続き行われた大会の部では、主催者として池田秀幸長野県危機管理監兼危機管理部長、古村県協会長のあいさつの後、前県協会正副会長に感謝状が贈呈され、来賓の小林東一郎県議会副議長、堀内秀駒ヶ根市副市長、根岸伸幸県消防長会長より御祝辞をいただき盛会に開催しました。

第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会

平成30年11月9日(金)、全国から女性消防団員など3,700人が参加し、大津市の滋賀県立体育館で開催されました。「母なる湖、琵琶湖へようこそ 近江の国から発信！」今こそ一致団結女性消防団員！」を大会のテーマとし、消防団活動について情報交換と地域を越えた交流を活発に行いました。長野県からは69名(内女性消防団員31名)が参加しました。



第24回全国女性消防団員活性化滋賀大会 11月9日(金)

消防出初式

消防出初式が県下77市町村中74市町村で実施されます。正月の伝統行事ともいえる出初式ですが、豪雪地域の6町村では4月に実施されます。

今年も阿部守一知事、太田寛副知事、中島恵理副知事が各地の出初式に出席し祝意を述べ激励されました。知事、副知事の出席市町村は次のとおりです。

阿部知事
富士見町、伊那市、駒ヶ根市
太田副知事 川上村
中島副知事 松本市



伊那市出初式

辰野町

消防出初式

平成31年1月13日(日)穏やかな晴天のもと、平成31年辰野町消防団・辰野町赤十字奉仕団出初式が行われました。

午後0時20分から辰野町役場南側駐車場で、武居保男町長、古村幹夫団長らによる観閲の中、ラッパ隊を先頭に堂々たる行進が行われた後、辰野町民体育館で式典が挙行されました。式典では、町長式辞、団長訓示があり、その後、県消防協会長表彰(宮下県協会副会長代読)など多くの団員、関係者が表彰されました。式典終了後、第7分団による「梯子乗り」が披露されました。



辰野町消防出初式

第26回全国消防操法大会に出場して 努力の結実

富士見町消防団
第10分団 指揮者 濱 祐

我々の所属する第10分団は、県大会初優勝と同時に全国大会への切符を手に入れることとなり、分団OBのみならず、地元・職場・家族と本当に多くの方々との喜びを分かち合い、期待に胸を膨らませて憧れの舞台へ臨むことになりました。

思い返せば、ここまでの道のりは決して平坦なものではありませんでした。私自身、入団から15年間操法に携わってきまし

消防関係者 秋の叙勲

県内から5名受章

県内からは、次の方々が受章の栄に浴されました。

◆瑞宝単光章

- ・元 伊那市消防団 分団長 北原 康弘
- ・元 松本市消防団 副団長 白澤 則明
- ・元 須坂市消防団 団長 成田 統
- ・元 三岳村消防団 団長 古本 勇
- ・元 上田市消防団 団長 和田 道明

たが、毎回思うような結果が残せず、町大会で悔し涙を吞んできました。自分たちには何が欠けているのだろうか…。正直、何度も心が折れそうになったことを覚えていきます。

しかし、これまでの失敗・経験を活かさなければ若い選手たちと同じ思いをさせることになり、自分の15年間の努力も全て無駄に終わってしまう。練習方法をはじめ、団員の意識改革の必要性を常に感じていた私は、この第10分団を変えるために指揮者のゼッケンを着けることを決めました。

長野県代表としてこの場に立てること、そして厳しい訓練を共に乗り越えてきた選手たちに感謝の気持ちを伝え、いよいよ最後の1本。

全員かなり落ち着いた状態でスタートを切れたのですが、経験した事の無い足場にうまく対応できず序盤に思いもよらないミス。目の前で起きたことに私も一瞬動揺しそうになりましたが、本人はもちろん他の選手もそのミスをカバーしようとして最後の最後まで集中力を切らすことなく、自分たちの操法を全国の大舞台で披露することが出来ま

した。

1発勝負の怖さ、そして操法という競技の難しさを改めて実感。結果は望んでいたところには届きませんでしたが、団員の「意識改革」が実を結び、我々の「組織力」「技術力」が本物であったことをあの1本で証明することができ、何ひとつ悔いのない大会となりました。

結果だけが全てではない。この半年間で得たもの全てが自分たちにとって掛け替えのない財産となり、新たな目標を見つけたこともできました。

これまで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、今後の消防団活動を通じて少しずつお返ししていきたいと思えます。

ありがとうございました！



富士見町消防団
第10分団 堂々の敢闘賞!